

令和3年度の教育活動等に対する学校評価書

令和4年 3月9日

学校法人頌徳学園三和幼稚園長 金原 順一

学校法人頌徳学園三和幼稚園学校関係者評価委員代表 齋藤 早苗

1 幼稚園の教育目標

元気で明るくのびのびした子ども

情操豊かな子ども

友達を遊べる子どもを柱として、よく見てよく聞いてよく考える子の育成をする

2 本年度の重点目標

- ・主体性を重んじた保育と研修

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価点	幼稚園取り組みの反省と改善策	評価点	評価. 意見
保育の計画性	子どもに合った主体的な指導計画と反省をもとに組み直しをする	B	各学年話し合いながら指導計画を進めることができた。 改善点…子どもの成長に合った内容で伴ったかを、学年だけで決めずに、全学年で把握すべきだった。	B	コロナ禍で主体性に欠ける部分見られたが、人数制限しつつも開催してもらえてよかった。コロナ禍での開催で内容変更が大変だと思うが今後もできるだけ開催してほしい
保育のあり方・幼児への対応	・主体性を考えた保育内容となっているか	B	発達段階に合わせて、自ら行動できる方法を考えてきた。 年間行事はコロナを考慮し変更がありコロナばかりが先行してしまい、主体性を疎かにしてしまうこともあった。 改善点…例年通りの行事を取り組んできた結果、初任者教諭もいるので、子どもの実情に合った内容を確認すべきだった。	B	コロナ禍により、改めて行事内容を見直し、子どもを主として考えていただき、良い機会になった。今後の行事内容内容を常に検討してほしい。ネット配信を活用してほしい。
保護者への対応	・基本的なマナー（挨拶・言葉遣い・姿勢）	B	教師が主体性を持つために、講師を招き、言葉掛け、礼儀作法・挨拶等のマナー研修を行った。 改善点…実行に伴わない部分が見られた。日々の努力していくようにしたい。	B	コロナ感染を恐れてしまいがちだが、恐れずに、研修をしてほしい。また保護者との接触も減少傾向である分、コミュニケーションが必要だと思う。先生方の言葉使いはきれいで良いと思う。
研修と研究	・職員自身の自主性を養う ・多面的な見方を育成	A	講師を呼び原点に戻り、主体性を求める絵画指導研修を行った。現場で困っていることを、グループ協議。主体性について考えを出し合う。 改善点…若手保育者も、少人数の中では、話し合うこともでき今後もこのような研修は必要。全体を把握するためにも、園児情報や、保育内容を共有すべきである。	A	色々研修をしていき技法や、指導技術を学んでほしい。主体性を打ち出していくのは、いいことだと感じる。ただその主体性も先生一人ひとりによって考えが違うので、同じ気持ちで接することができればよい。

評価結果の表示

A	十分成果があった	B	成果があった	C	少し成果があった	D	成果がなかった
---	----------	---	--------	---	----------	---	---------

4 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
職員同士での課題共有と計画の見直し	園児の援助・指導方法などの共有の場を作っていく。実情に合った計画の見直し
職員の資質向上	視野を広げるためにも、様々な分野、特に技術面を重視した研修をする。
園児対応	社会生活・基本的生活を確実に身に着け、日々積み重なっていけるような指導

令和4年3月 9日 学校関係者評価意見委員の意見を次記の通り報告します

令和3年度 三和幼稚園 学校評価委員代表 齋藤 早苗

